



鶴田町長
相川 正光

年頭にあたって

謹んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、当町を代表する景勝地であります「鶴の舞橋」が、女優の吉永小百合さんが出演するJR東日本「大人の休日倶楽部」のテレビコマercialのロケ地として採用されました。6月の放送開始とともに全国から注目を集め、多くの観光客に当町を訪れていただきました。国では観光立国を掲げ、特に海外からの観光客誘致を成長戦略の極めて重要な柱として、取り組みを進めております。我が町としても、この効果が一過性のものとならないよう、海外からの観光客対策も含めて、観光施策の取り組みをさらに推進してまいります。

8月には鶴田中学校グラウンドを会場に、夏期巡回ラジオ体操

・みんなの体操会が開催され、約1300人もの方々に参加していただき成功裏に終えることができました。この模様は、NHKラジオで日本のみならず世界各国へ配信され、当町からの元気な声の世界中に届けられました。参加された皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

また、当町の最重要課題であります統合小学校の建設につきましては、予定地を現在の鶴田小学校敷地内へ建設することに決定させていただきました。日本の将来を担う子どもたちのため、平成32年4月の開校を目指して、町民の皆さまをはじめ関係各位と連携を密にし、統合小学校の建設に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

当町の基幹産業であります農業において、稲作につきましては、飼料用米の作付けが拡大し、

主食用米の需給バランスが改善したことが大きな要因となり、主要品種である「つがるロマン」、特A品種「青天の霹靂」とともにJA概算金が15年産を上回り、「つがるロマン」は3年ぶりに1万円台まで回復しました。しかしながら、米の消費量低迷は続いており、より安定した生産量と価格が維持できるような国、県に働きかけていかなければなりません。

リングでは、9月以降の天候不良により玉伸びが悪く、着色遅れなどが見られ、収穫量は減少したようです。しかしながら、アジア圏を中心とした輸出が好調であるため、価格は堅調に推移し、3年続けて順調な販売となったようです。

スチューベンもリングと同様に天候不良による実割れ、脱粒、着色不良などがありました。食味は良好でした。10月8日から10日までの3日間、道の駅つ

るた「鶴の里あるじゃ」において開催された日本一スチューベンぶどう祭りでは、あいにくの天候にもかかわらず、全国からスチューベンを買い求める多くのお客様で賑わいました。これも生産者の方々とともに県内外での販路拡大に取り組んできた成果であると手応えを感じているところであります。

いずれにしても、農業を取り巻く状況は好転してきているとはいえ、依然として厳しいものと感じております。担い手である若手農業者の方々を中心に各関係機関等との連携をより強固なものとし、さらには農産物販売の拠点施設である道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」の施設の拡充も視野に入れ、地域の活性化を図ってまいります。

また、国際的に活躍できる人材の育成を目的として、昭和52年に締結したフッドリバー市との姉妹都市盟約は、本年7月27

日をもって40周年という大きな節目を迎えます。このため、7月上旬には町訪問団がフッドリバー市を訪問し、今秋には当町にフッドリバー市民訪問団を迎え、双方において記念式典を開催することとしております。40年間続いてきた、両市町の交流が未来永劫続くよう取り組んでまいりますので、皆さま方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後も、町民の皆さまとともに知恵を出し合い、安全で安心して生活できるよう、「健康で共に支え合う住みよいまちづくり」を実現するため、誠心誠意努力してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。



鶴田町議会議長
松山 明

豊かな実りを次の世代にも

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、心新たに希望に満ちた新春をお迎えることとお慶び申し上げます。平成29年の年頭に当たり、町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、リオオリンピックでの日本選手の活躍に町民の皆さまも一喜一憂されたことと思います。伊調馨選手が五輪史上初の4大会連続の金メダルを、レスリング男子では太田忍選手が銀メダルを獲得しました。また、卓球では男女とも本県に縁のある選手が大活躍し、大いに盛り上げてくれました。

もうひとつ嬉しいニュースとしては、大隅先生がノーベル医学生理学賞を受賞したことがあげられます。3年連続で日本人研究者がノーベル賞を受賞したことは、日本の学術レベルの高さを示すとともに、学者や研究者のみならず、多くの国民の喜

びと励みとなるものでした。

一方で、多くの自然災害のニュースを目にする年でもありました。4月には熊本県で震度7を観測する地震があり、甚大な被害が発生しています。また、8月と9月の台風は、隣の岩手県や北海道に大きな被害をもたらしました。桜島・阿蘇山の爆発的な噴火や鳥取県の地震も記憶に新しいところであります。

幸いなことに、当町で大規模災害は発生しておりませんが、自然災害に対する備えの大切さを痛感させられた年でもあります。安全・安心のまちづくりを進めるため、12月議会終了後には行政と議会が合同で県選出国

議員への要望活動を行いました。岩木川の堤防関連と統合小学校整備のための予算確保の要望活動でしたが、我々の代表である国会議員の皆さんに、まずは地元の実情を知っていただくことが予算獲得の第一歩の思

ていきたいと思います。

町の話題としては、中学生大使フットリバー訪問、津軽富士見湖桜まつり、町民ふれあいスポーツフェスティバル、つるたまつり、町民文化祭など、多彩な催しが実施されました。町民の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。また、スポーツ関連では、県民体育大会で総合11連覇を達成。柔道では、「マルちゃん杯全日本少年柔道大会」で、鶴田中学校女子柔道部が県勢初の優勝に輝くなど好成績を収めてくれました。

また、フットリバー市との姉妹都市交流は今年で40周年を迎え、両市町での記念行事が計画されています。概要が固まり次第、町民の皆さまにお知らせすると聞いておりますが、今後ますます交流の絆が深まることを期待しております。

町の基幹産業である農業に目を転じますと、農業経営者の高齢化など依然として厳しい環境ではありますが、明るい兆しが

見えた年でもあります。コメは平年作以上の作柄が確保でき、特A米である「青天の霹靂」の栽培面積も着実に増えています。「つがるロマン」、「まつしぐら」ともJA概算金が1500円高かったことが何よりもうれしいニュースでした。リンゴは台風の間隙を縫うような綱渡りの栽培でしたが、大きな自然災害に遭うことなく収穫ができました。収量は例年に比べて若干少ないようですが、競合する果物が全般に少なく、また、県産りんごの食味が良かったことから高値相場で推移しています。

売れるという信念を持つて、技術に磨きをかけることで農業の生き残りにつなげていきたいものだと思います。

町議会は昨年の改選により、正副議長はじめ委員会構成など新たな体制となりました。町議会が住民の代表機関として、地域の実情に応じたまちづくりや行政への監視機能を十分に発揮するために、これまで以上に議員活動を積極的に展開していくことが求められます。二元代表制の一翼を担う私たちは、町民の皆さまの意思を町政に反映させる重要な役割を担っております。今後とも町民の皆さまから負託を受けた役割と責任を自覚し、豊かな実りを次の世代につなげるため、議員一丸となつて全力を尽くしてまいります。

結びに当たり、迎えました新しい年が、町民の皆さまにとって健やかで笑顔の絶えない年でありますようお願い申し上げます。議会を代表しての新年のあいさつといたします。